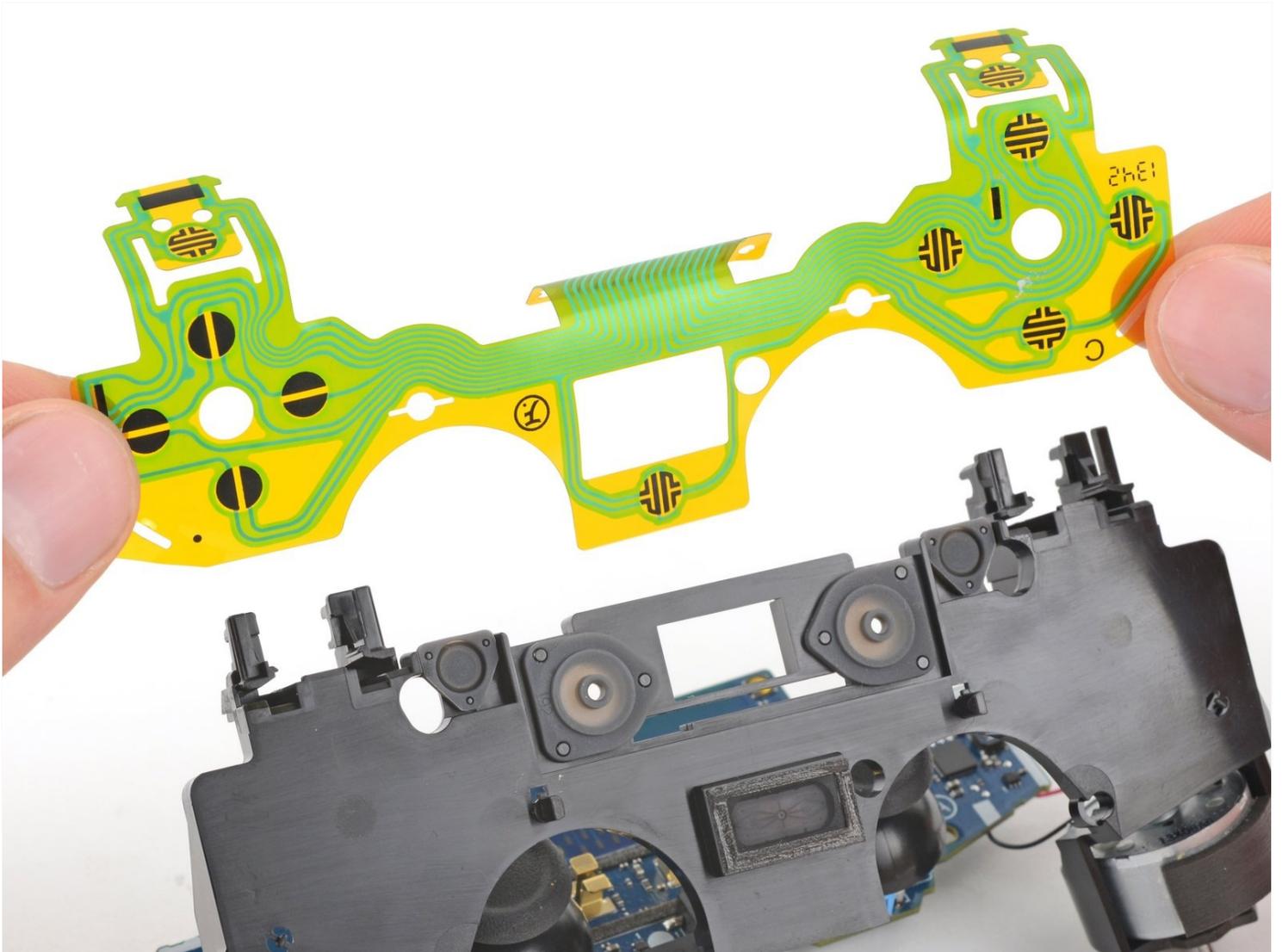




DualShock 4(CUH-ZCT1U)のボタン回路用メンブレン

この修理ガイドを参照して、DualShock 4モデル...

作成者: Clay Eickemeyer



はじめに

この修理ガイドを参照して、DualShock 4モデル CUH-ZCT1Uのボタン回路用メンブレンを交換します。

🔧 ツール:

マイクロファイバー製クリーニングクロス (1)
プラススクリュードライバー(#00) (1)
1 x オープニングピック (1)
スパッジャー (1)
ピンセット (1)

⚙️ 部品:

DualShock 4 Controller Motherboard and Midframe Assembly (JDM-020) (1)
DualShock 4 Controller Motherboard and Midframe Assembly (JDM-001) (1)
DualShock 4 Controller Motherboard and Midframe Assembly (JDM-011) (1)

手順1 — コントローラーのモデルを確認



- コントローラーの背面に記載されている型番を確認してください。この修理ガイドは、モデル**CUH-ZCT1U**を使用して作成されています。他の機種をお使いの場合は、ガイドの手順や交換部品が若干異なる場合があります。

- ① 第2世代DualShock 4、モデル**CUH-ZCT2U**をお持ちの方は、[こちらのガイド](#)をご利用ください。

手順2 — リアケースのネジを外す



- ① この修理中にコントローラーを安定させるには、マイクロファイバークロスなどの柔らかいものの上に置いてください。
- プラスドライバーを使って、リアケースを固定している、長さ6.4mmネジを4本外します。

手順3 — L1ボタンを外す



- オープニングピックを使って、L1ボタンの各角をフロントケースからこじ開けます。
- ① ボタンがワークスペースから飛び出さないように、カバーをかけます。
- ボタンを外します。

手順4 — R1ボタンを外す



- L1ボタンと同じように、オープニングピックでR1ボタンをこじ開けて、取り外します。

手順5 — リアケースのクリップを外す



① 6つのプラスチッククリップが、リアケースをフロントケースに固定しています。次の4つのステップでは、コントローラを開ける前に、これらのクリップを外す方法を説明します。

- フロントケースとリアケースの間、ハンドルとアクションボタンの間に、オープニングピックを斜め下に差し込みます。
- ピックをハンドル方向にスライドさせ、こじ開けると最初のクリップが外れます。
- この手順をコントローラの反対側でも繰り返し、2つ目のクリップを外します。

手順 6



- さらに2つのクリップが、拡張ポートとヘッドホンジャックの近くでリアケースを固定しています。
- フロントケースとリアケースの間に、オープニングピックをポートの両脇に差し込みます。
- ピックをひねって、リアケースのこの部分のフロントケースからクリップを外します。
 - ① リアケースが引っかかる感じがする場合は、ピックをいろいろな角度から挿入してひねってみてください。

⚠ コントローラーは、トリガー付近の2つの非常にデリケートなクリップで固定されているので、ここではまだ開けないでください。

手順 7



- ① 最後の2つのクリップは非常にデリケートで、コントローラーの内部から外す必要があります。万が一壊れてしまっても、この修理やコントローラーの機能には影響しません。
- R2またはL2ボタンの上の隙間から、クリップの位置を確認します。

手順 8



- R2ボタン上の隙間からスパッジャーの先を差し込み、固定クリップを外側に押し出します。
- クリップを外側に押し出しながら、リアケースをフロントケースから離れる感触があるまでゆっくりと引き離します。
⚠ R2とL2クリップが外れるまで、コントローラを全開にしないでください。
- この手順をL2ボタン付近のクリップにも繰り返します。

手順 9 — リアケースを外す



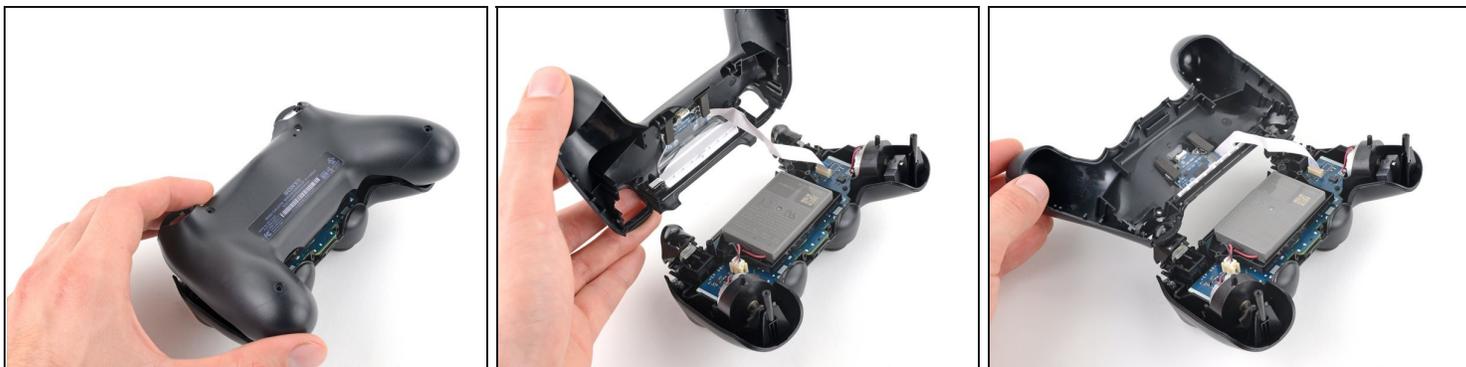
- R2ボタンを押してリアケースをスライドしながら外します。

手順 10



- L2ボタンを押して、リアケースからスライドしながら外します。

手順 11



- リアケースを裏返して、相互接続ケーブルに負担をかけないように注意しながら、コントローラーの上に乗せます。

手順 12 — 相互接続ケーブルを外す



- ピンセットまたは指を使って、相互接続ケーブルの青いプルタブを使ってソケットから引き抜いて外します。
- ☑ 再組み立ての際、ケーブルの青いプルタブをコントローラーの外側に向けて、再接続してください。

手順 13 — バッテリー



- コントローラーの2つの部分を接続している、マザーボードのリボンケーブルを、指で引き抜いて取り外します。
- ☑ 接続しなおす際には、ケーブルの向きに注意して、正しい方向を向いていることを確認します。
- 2つの部分を分離したら、コントローラーのトップ部分は脇に置きます。

手順 14



- 先端が丸いピンセットを使用して、バッテリープラグをゆっくりと左右に揺らしながらプラグを緩めます。
- マザーボードからプラグを取り外すと、バッテリーを持ち上げてコントローラから分離できます。

⚠ 慌ててバッテリープラグを取り外すと、プラグのプラスチックのツメが歪んでしまうことがあります。

手順 15 — リセットボタンのエクステンションを外す



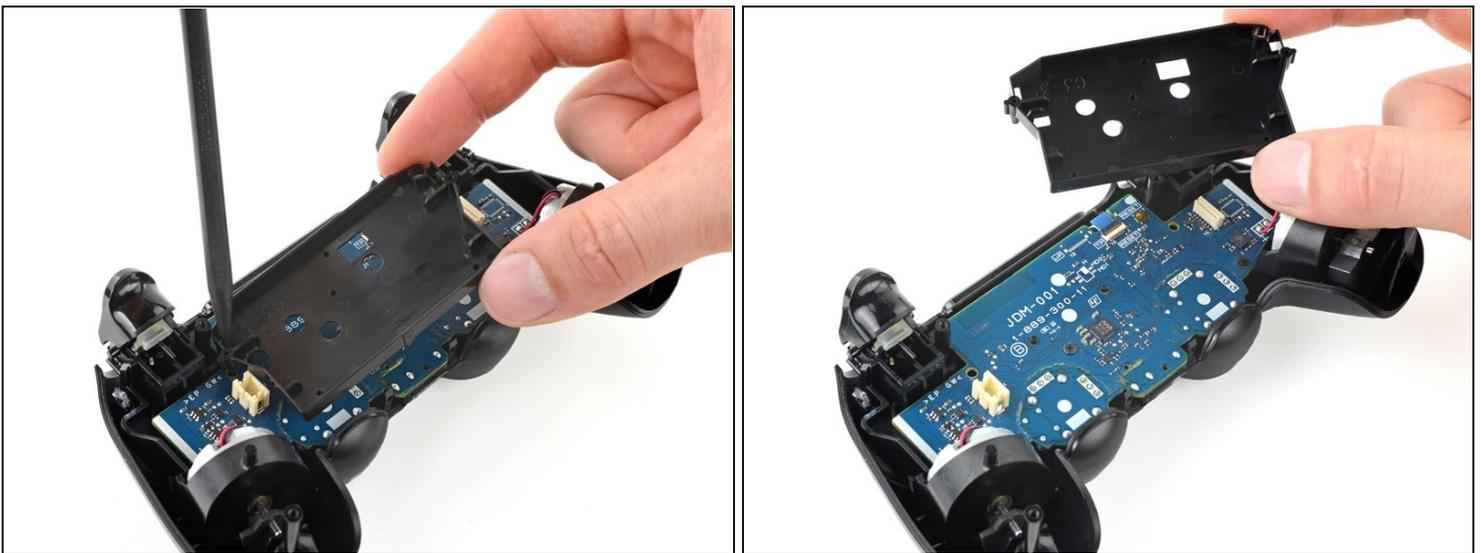
- リセットボタンのエクステンションを持ち、バッテリーブラケットの凹部から外します。

手順 16 — バッテリーのブラケットを外す



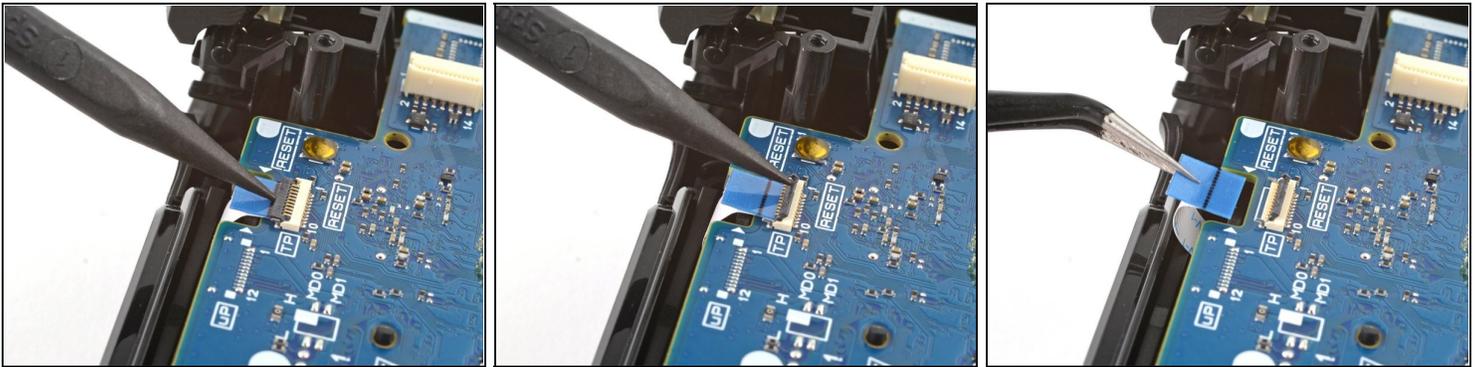
- バッテリーブラケットをマザーボードに固定している2つのクリップの位置を確認します。
- スパッジャーの先端を右側ブラケットのクリップ裏の開口部に差し込みます。
- クリップを押し出して、マザーボードから外します。
- バッテリーブラケットの右端を持ち上げます。

手順 17



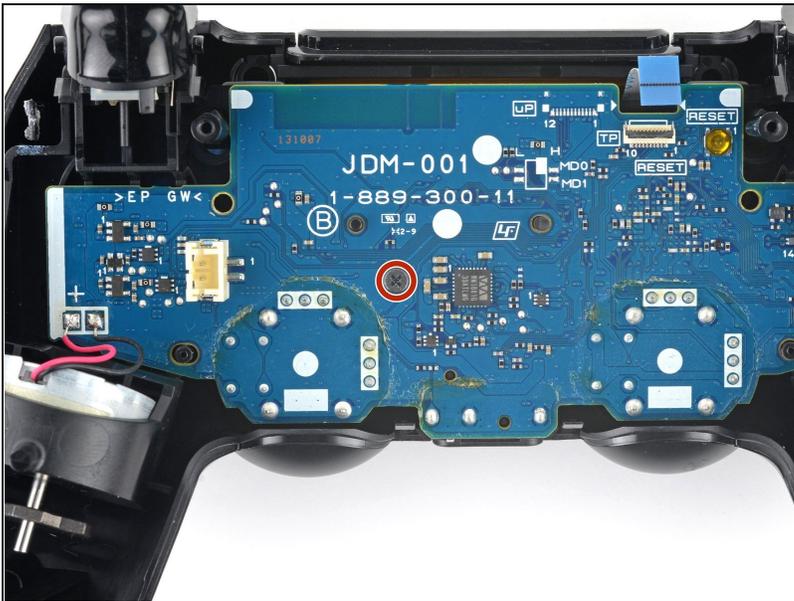
- 左側ブラケットのクリップ裏の開口部にスパッジャーの先端を差し込みます。
- クリップを押し込んで、マザーボードから外します。
- バッテリーブラケットを取り出します。

手順 18 — タッチパッドの接続を外す



- タッチパッドケーブルのZIFコネクタを固定している固定フラップを、スパジジャーの先端で跳ね上げます。
- ピンセットや指を使って、青いプルタブを利用してケーブルを外します。

手順 19 — マザーボードのネジを外す



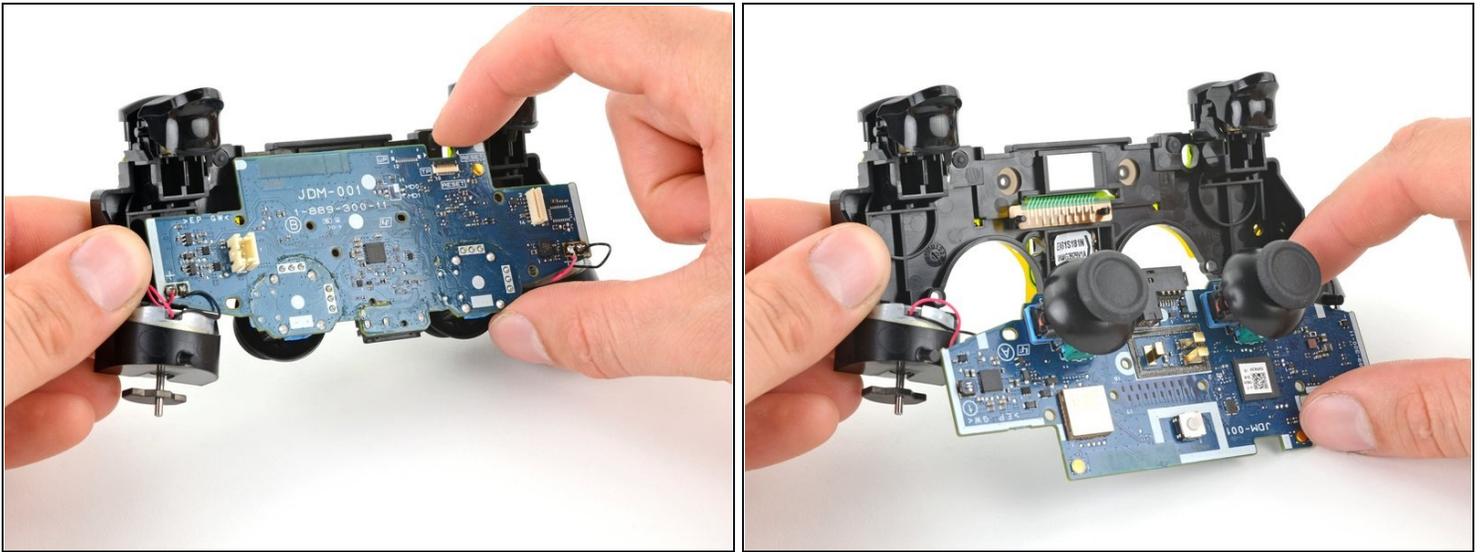
- プラスドライバーを使って、マザーボードを固定している6.4mmのネジを外します。
- ★ 再組み立ての際、マザーボードをフロントケースにしっかりと固定してからネジを締めてください。各ボタンをテストして、シリコンボタンパッドが正しく配置されていることを確認します。各ボタンが期待通りに押されるなら、マザーボードを固定します。

手順 20 — ミッドフレームを外す



- ミッドフレームのプラスチックの突起もしくは振動モーターを掴んでフレームを外します。
 - ① マザーボードとミッドフレームは、振動モーターのケーブルでつながっているだけなので、これらを外さないでください。
- ★ 再組み立ての際、ミッドフレームを装着する位置を慎重に確認してください。また、タッチパッドケーブルが下に挟まれないよう注意してしてください。

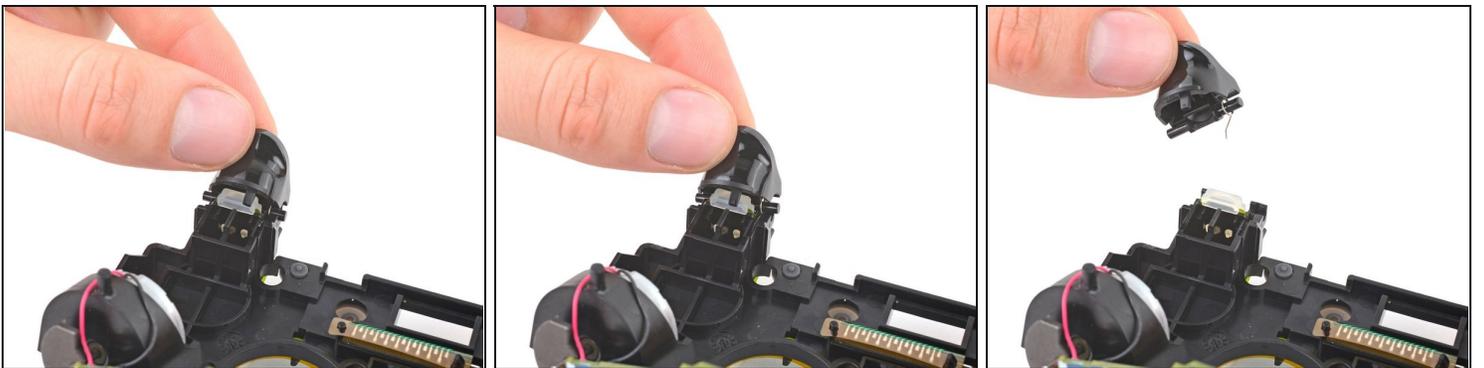
手順 21 — マザーボードを外す



⚠ 振動モーターのケーブルに負担をかけないように注意してください。振動モーターがマザーボードから外れた場合、[このガイド](#)に従ってはんだ付けをやり直してください。

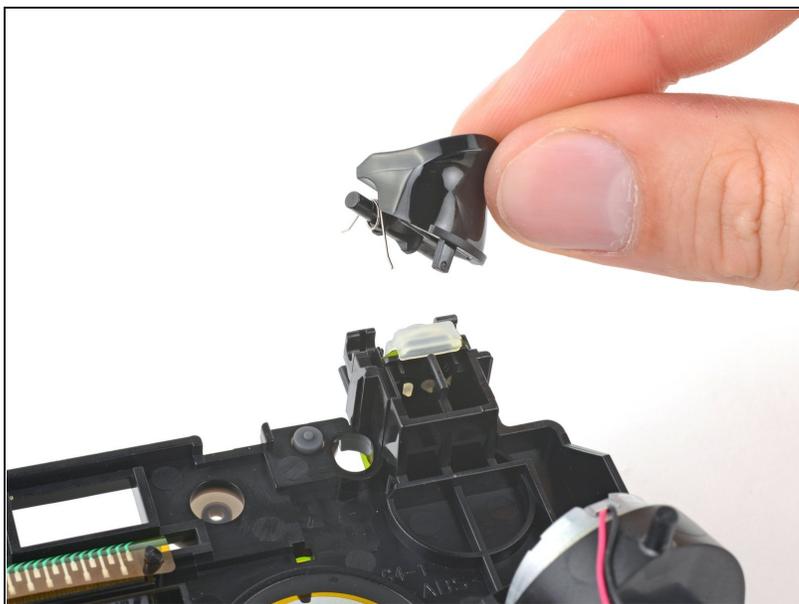
- マザーボードを持ち上げ、振動モーターのケーブルを付けたまま、ミッドフレームの下側に反転させます。

手順 22 — R2ボタンを外す



- R2ボタンをしっかりと握り、ミッドフレームから各ペグを外します。
- ⓘ スプリングは、内側のペグから飛び出すことがあります。紛失しないように注意してください。
- R2ボタンを外します。

手順 23 — L2ボタンを外す



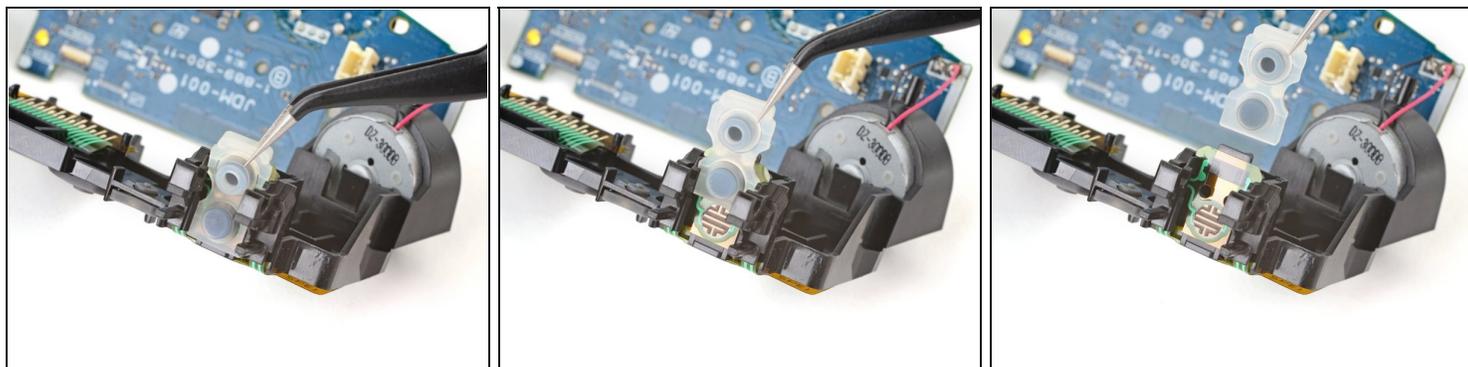
- ミッドフレームからL2ボタンのクリップを外し、内側のペグから小さなバネを失わないように注意して取り外します。

手順 24 — 再組み立て情報



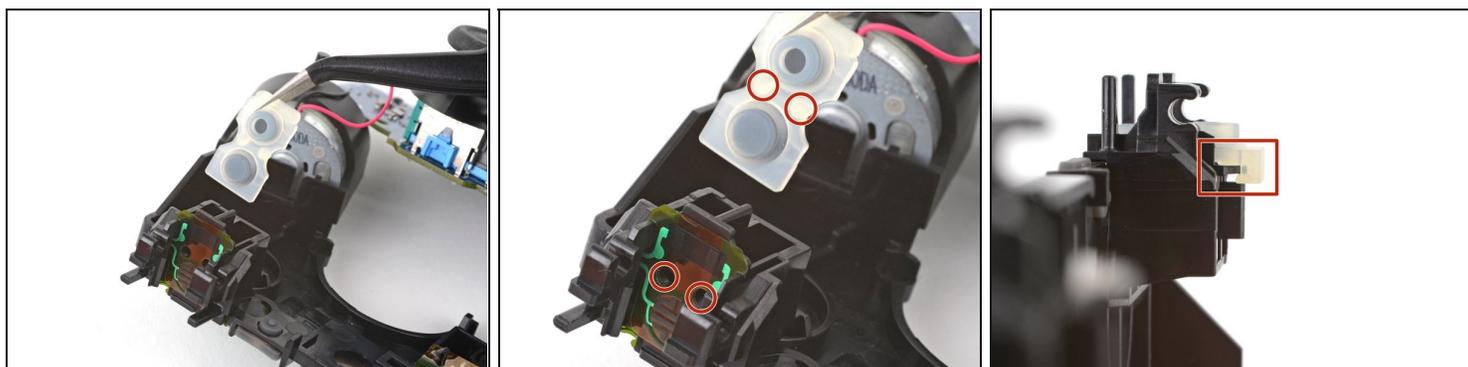
- 再組立の際には、以下の手順でR2ボタンとL2ボタンにスプリングを取り付けてください。
- ミッドフレームを裏返しにして、ボタンの向きを揃えます。
 - スプリングは、曲げられた端が上向きになるように、内側にあるペグに被せます。
 - スプリングの片側先端をボタン内の溝に入れます。
 - ボタンをクリップの上に置き、スプリングのもう一方の端をミッドフレームのチャンネルに固定します。
 - 最後にボタンのペグにカチッと装着音がするまで、クリップに押し込んでください。

手順 25 — シリコンボタンパッドを外す



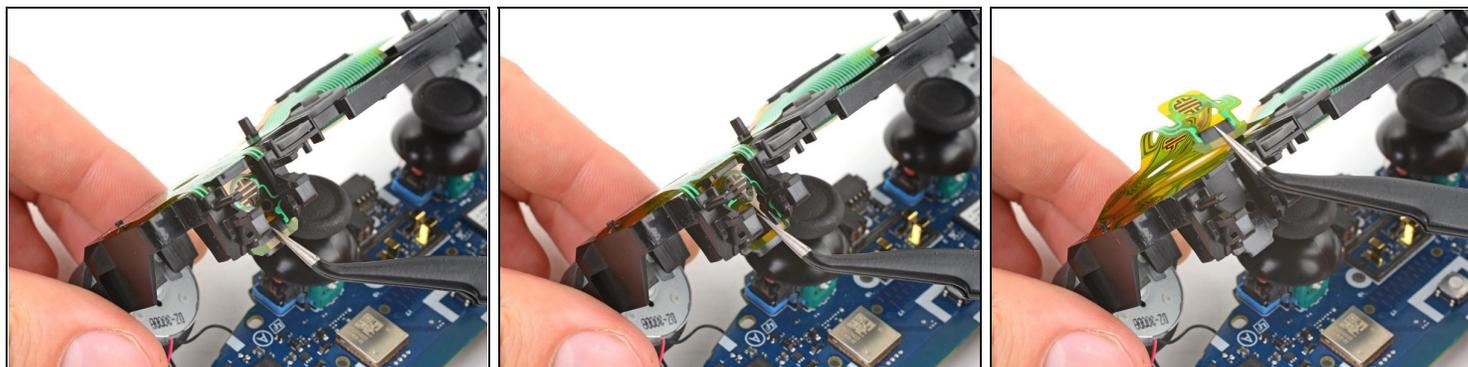
- R1とR2ボタンパッドの上部端を掴みます。
- ミッドフレームのチャンネルからパッドをスライドして外します。

手順 26



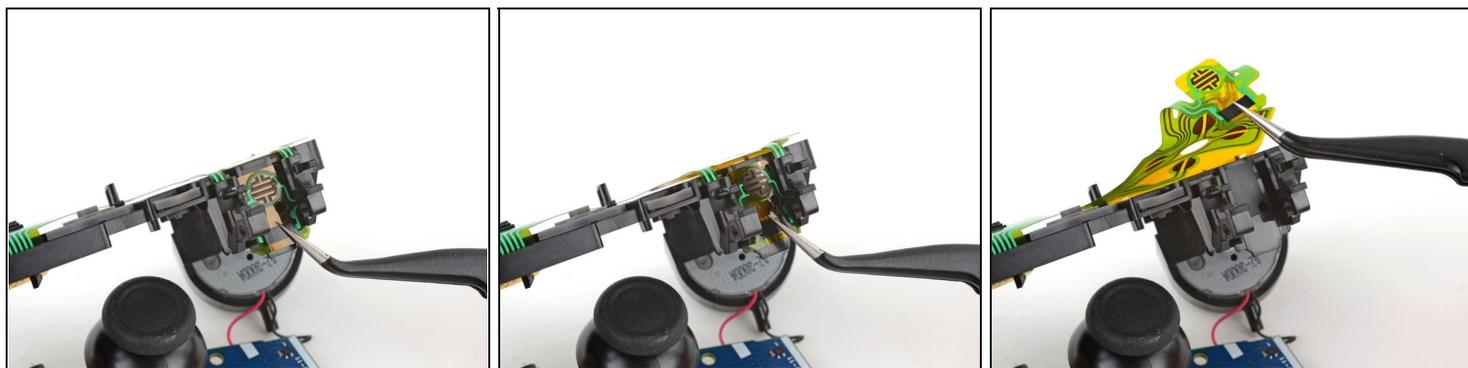
- L1、L2ボタンパッドをミッドフレーム内のチャンネルからスライドさせて外します。
- 各パッドには、2つのプラグと、ミッドフレームと位置合わせするための上部溝があります。再組立の際、プラグが穴に差し込まれ、溝がミッドフレームのタブ上に引っかかっていることを確認します。

手順 27 — ボタン回路用のメンブレンを緩める



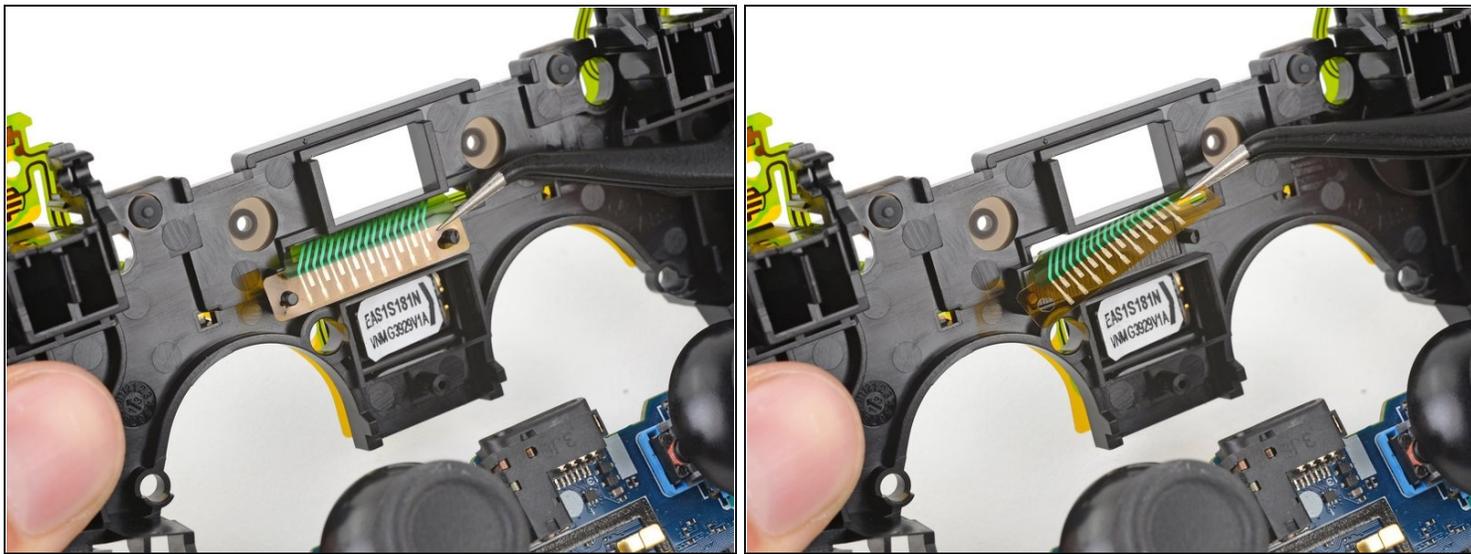
- ピンセットもしくはスパッジャーで、ボタン回路メンブレンのあるR1とR2部分の下側を持ち上げます。
 - ミッドフレーム上の固定タブの上にメンブレンをスライドします。
- 再組み立ての際はメンブレンをスロットに挿入し、固定タブの上にカチッとハマるまでスライドさせます。

手順 28



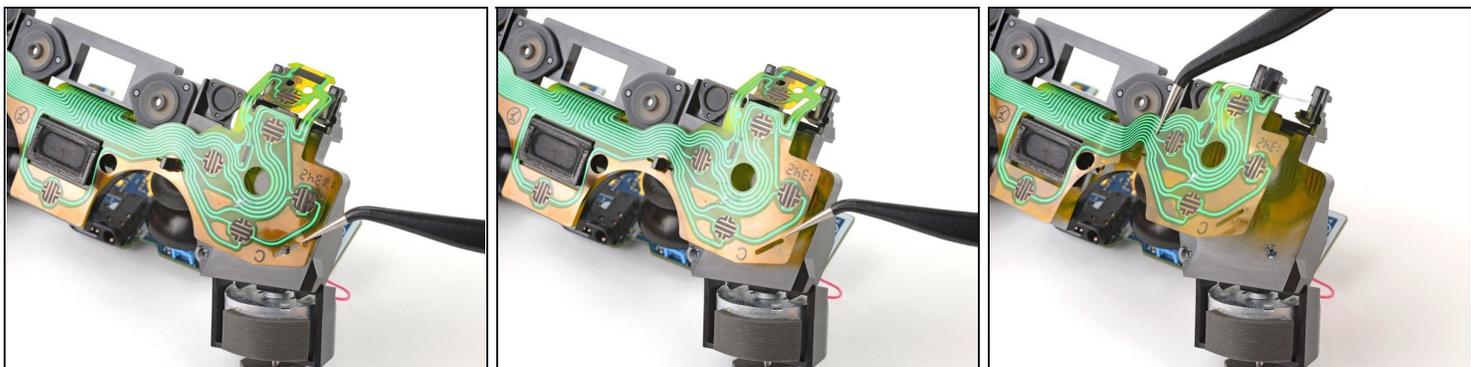
- スパッジャーもしくはピンセットを使って、ボタン回路用メンブレンのL1とL2セクションの下側を持ち上げます。
 - ミッドフレームの固定タブ上にメンブレンをスライドします。
- 再組み立ての際は、メンブレンをスライドしてスロットに差し込み、タブの上にカチッとハマめます。

手順 29



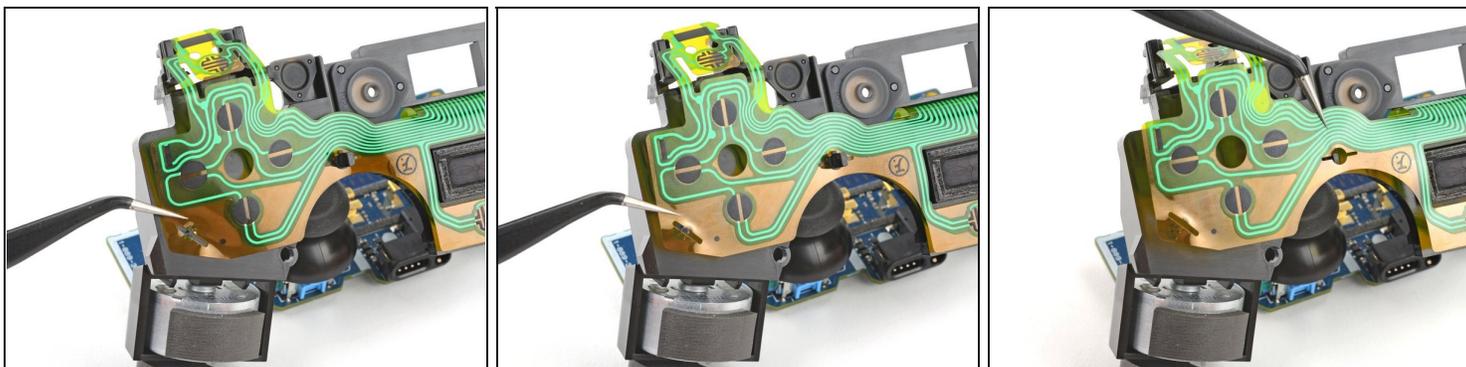
- ボタン回路メンブレンの中央部分を、ミッドフレーム背面の固定ペグから剥がして持ち上げます。

手順 30



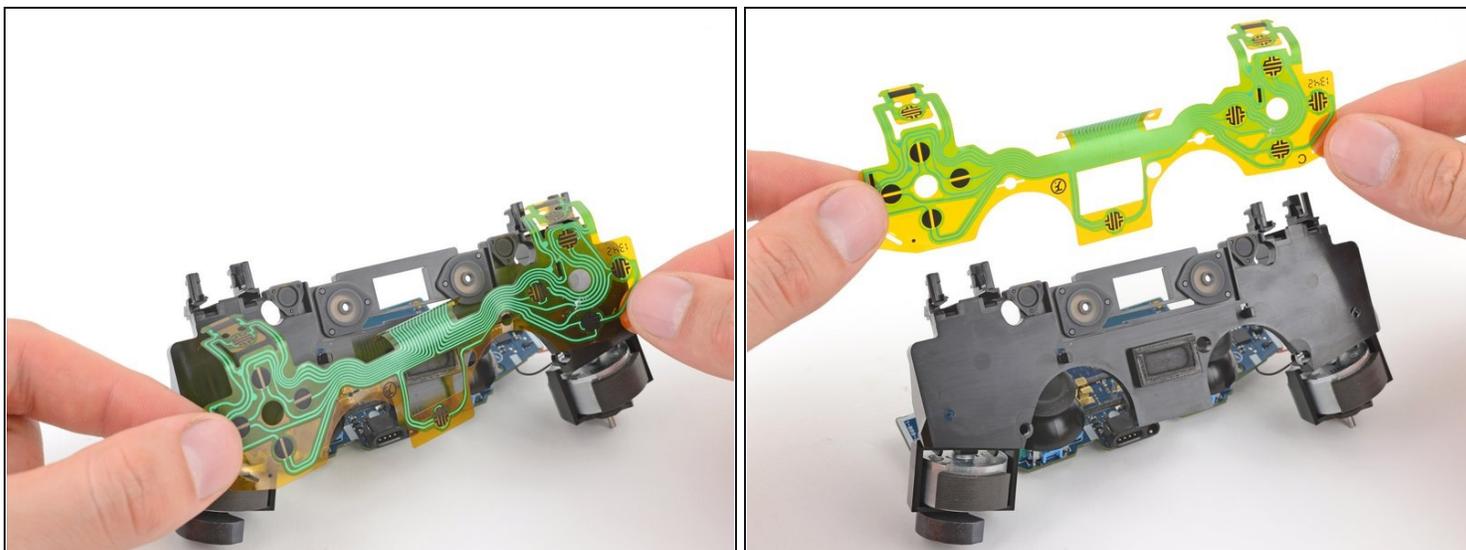
- ミッドフレームを裏返して、ボタン回路用のメンブレンを手前に配置します。
- ボタン回路用メンブレンの右側半分を、ミッドフレーム表面にある2つの固定ペグから外します。

手順 31



- ボタン回路用メンブレンの左側半分をミッドフレームの表面にある2つの固定ペグから外します。

手順 32 — ボタン回路用メンブレンを外す



- ボタン回路用のメンブレンの両側を掴みます。
- ミッドフレームの切り欠きからメンブレンの中央部分をゆっくりと解いて外します。
- メンブレンを取り出します。

オリジナルのパーツと交換用パーツをよく見比べてください。交換用パーツに付いていない残りのコンポーネントや接着シールなどは、インストールする前に新パーツに移植する必要があります。

このデバイスを再組み立てするには、インストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

e-wasteを処理する場合は、[認可済みリサイクルセンターR2](#)を通じて廃棄してください。

修理がうまく進みませんか？ベーシックな[トラブルシューティング](#)を試してみるか、このモデルの[アンサーコミュニティ](#)に尋ねてみましょう。